

障がい福祉に関する アンケート調査

— アンケート調査ご協力のお願い —

皆さまには、日頃より町行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、宮代町では、障がい者の福祉サービスを計画的に進めていくために、障がい者施策の基本的な目標を定める障がい者基本計画と、障がい福祉サービスを推進するための目標を定める障がい福祉計画を、同時に策定することとなりました。

つきましては、その基礎資料として、障がいのある人(子どもを含む)の生活実態やご意見、ご要望をお聞きするアンケート調査を実施することになりました。

今回の調査は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳や指定難病医療受給者証をお持ちの人に、ご協力をお願いしています。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、この調査は無記名で実施し、お答えいただいた内容は、統計的に処理しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。思ったままを安心してご記入ください。

令和4年11月

みやしろまち
宮代町

— ご記入にあたってのおねがい —

1. 調査票の「あなた」とは、調査票をお送りしたあて名の方をいいます。
2. 調査票は、なるべくご本人がご記入・ご回答ください。ただし、ご本人の記入・回答が困難な場合は、主に介護されている方が、ご本人と相談するなどして、ご本人の立場に立ってお答えください。

※ 視覚障がいのある人へ

このアンケート調査につきまして、記入が困難な場合は、下記担当課までお問い合わせください。記入に必要なご支援をいたします。
あわせて、恐縮ですが、介助や支援をされている方のご協力もお願いいたします。

3. 最初の設問から順番に、1つずつお答えください。なお、一部の人だけにお答えいただく設問もありますので、その場合は説明文や矢印などにしたがってください。
4. お答えは、あてはまるものの番号を○で囲んだり、設問の指定する方法でご回答ください。
「その他」については、できるだけ具体的な内容を（ ）内に記入してください。
5. お答えの数は、設問ごとに「1つに○」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってください。
6. 「ご自由にお書きください」の欄には、その設問についてあなたの思ったことを何でもご自由にお書きください。
7. 調査対象の方の年齢は、令和4年11月1日現在で記入してください。
8. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）にそのまま調査票を入れて、令和4年11月30日（水）までにご投かんください。
9. ご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

みやしろまち 宮代町
ふくしか 福祉課
ふくししえんたんとう 福祉支援担当

でんわ 電話 0480-34-1111 (内線326)

FAX 0480-34-3396

しょう ふくし かん
障がい福祉に関する
アンケート調査
ちようさ

宮代町

① あなたご自身について

問1 この調査票を記入された人はどなたですか。（1つに○）

1. 本人がご自身で記入
2. 本人の意思を「代筆」で記入
3. 家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入

問1で「2. 本人の意思を「代筆」で記入」または「家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入」と答えた人におたずねします。

問1-1 記入された方とご本人との関係について、あてはまる方に○をしてください。

1. ご家族
2. その他（ ）

問2 あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

1. 男性
2. 女性
3. その他

問3 令和4年11月1日現在の、あなたの年齢はいくつですか。（1つに○）

1. 0歳～就学前
2. 就学後～17歳
3. 18～19歳
4. 20～29歳
5. 30～39歳
6. 40～49歳
7. 50～59歳
8. 60～64歳
9. 65～74歳
10. 75歳以上

と
問4 あなたにはどのような障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|---|------------------|
| 1. 身体障がい | → | 問4-1 (1) ~ (2) へ |
| 2. 知的障がい | → | 問4-2 へ |
| 3. 精神障がい | → | 問4-3 (1) ~ (5) へ |
| 4. 指定難病医療受給者 | → | 問5 へ |

と
問4で「1. 身体障がい」と答えた人におたずねします。

と
問4-1 (1) あなたにはどのような障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------|------------------------------|------------------|
| 1. 肢体不自由 | →具体的な部位はどこですか。(あてはまるものすべてに○) | |
| 【 | 1. 上肢(手・腕) | 2. 下肢(脚) |
| | 4. 脳原性運動機能障がい(上肢機能障がい) | 3. 体幹(手・腕を除く上半身) |
| | 5. 脳原性運動機能障がい(移動機能障がい) | 】 |
| 2. 内部障がい | →具体的な部位はどこですか。(あてはまるものすべてに○) | |
| 【 | 1. 心臓 | 2. じん臓 |
| | 5. 小腸 | 6. 免疫 |
| | 3. 呼吸器 | 4. ぼうこうまたは直腸 |
| | 7. 肝臓 | 】 |
| 3. 視覚障がい | | |
| 4. 聴覚または平衡機能の障がい | | |
| 5. 音声・言語またはそしゃく機能の障がい | | |

と
問4-1 (2) 「身体障害者手帳」の等級はどれですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
| 4. 4級 | 5. 5級 | 6. 6級 |

(身体障がいの他にも障がいがある人は次のページへお進みください)

とい ちてきしょう こた ひと
問4で「2. 知的障がい」と答えた人におたずねします。

とい りょういくてちょう てちょう とうきゆう
問4-2 「療育手帳 (みどりの手帳)」の等級はどれですか。(1つに○)

1. ○ A 2. A 3. B 4. C

とい せいしんしょう こた ひと
問4で「3. 精神障がい」と答えた人におたずねします。

とい せいしんしょうがいしやてちょう とうきゆう
問4-3 (1) 「精神障害者手帳」の等級はどれですか。(1つに○)

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 手帳を持っていない

とい じりつしえんいりょうじゆきゆうしやしょう も
問4-3 (2) 「自立支援医療受給者証」をお持ちですか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

とい こうじのうきのうしょう しんだん
問4-3 (3) これまで高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。
(1つに○)

1. はい 2. いいえ

とい はったつしょう しんだん
問4-3 (4) これまで発達障がいとして診断されたことはありますか。(1つに○)

1. はい → 問4-3 (5)へ
2. いいえ → 問5へ

とい 問4-3 (4)で「1. はい」と答えた人におたずねします。

とい しんだん う
問4-3 (5) どのような診断を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自閉症
2. アスペルガー症候群とその他広汎性発達障がい
3. 学習障がい (LD)
4. 注意欠陥多動性障がい (ADHD)
5. その他の発達障がい ()

たいしょう しょう すべ こた つぎ すす
(対象となっている障がいについて、全てお答えいただきましたら、次のページへお進みください)

② 生活の場について

ぜんいん
全員におたずねします。

と
問5 あなたの現在の生活環境はどれですか。(1つに○)

1. 自宅じたく→問5-1 (1) ~ (2) へ
2. グループホーム・生活ホームせいかつ→問6へ
3. 施設しせつや病院びょういんに入所にゅうしょ・入院にゅういんしている→問5-2へ
4. その他た ()→問6へ

と
問5で「1. 自宅じたく」と答えた人におたずねします。

と
問5-1 (1) あなたは今いま、どこで暮らくしていますか。(1つに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 持ち家 <small>も いえ</small> (家族 <small>かぞく</small> の持ち家 <small>も</small> 含む <small>ふく</small>) | 2. 公営住宅 <small>こうえいじゆうたく</small> |
| 3. 民間アパート <small>みんかん</small> 、借家 <small>しゃくや</small> | 4. 社宅 <small>しゃたく</small> ・会社 <small>かいしゃ</small> の寮 <small>りょう</small> |
| 5. その他 <small>た</small> () | |

と
問5-1 (2) あなたといっしょすに住ひとんでいる人だれは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|--|------------------------------|------------------------|--|
| 1. 夫 <small>おっと</small> ・妻 <small>つま</small> | 2. 父 <small>ちち</small> | 3. 母 <small>はは</small> | 4. 子ども <small>こ</small> (子の夫 <small>おっと</small> ・妻 <small>つま</small> を含む <small>ふく</small>) |
| 5. 兄弟 <small>きょうだい</small> 姉妹 <small>しまい</small> | 6. 祖父母 <small>そふぼ</small> | 7. 孫 <small>まご</small> | 8. 親せき <small>しん</small> |
| 9. ひとり暮らし <small>ぐ</small> | 10. その他 <small>た</small> () | | |

と
問5で「3. 施設しせつや病院びょういんに入所にゅうしょ・入院にゅういんしている」と答えた人におたずねします。

と
問5-2 あなたが今いま、利用りようしている施設しせつはどれですか。(1つに○)

1. 障害者総合支援法しょうがいしやそうごうしえんぽうにおける施設入所支援しせつにゅうしょしえん
2. 介護保険法かいごほけんぽうにおける介護保険施設かいごほけんしせつ
3. 病院びょういん
4. その他た ()

つぎ
(次のページへお進みください)

ぜんいん
全員におたずねします。

と
問6 あなたは今後（10年以内で）、どこに住みたいですか。（1つに○）

1. 町内 2. 町外（近隣） 3. 町外（こだわらない）
4. その他（ ） 5. わからない

と
問7 あなたはどのような暮らし方をしたいですか。（1つに○）

1. 今までと同じように暮らしたい
2. 一人暮らしをしたい
3. 今は一緒に暮らしていない家族と一緒に暮らしたい（結婚等により新しい家族と一緒に暮らす場合も含む）
4. グループホーム等で暮らしたい
5. 施設で暮らしたい
6. その他（ ）
7. わからない

③ サービスの利用について

と
問8 あなたは介護保険法の要介護認定を受けていますか。（1つに○）

1. 受けている 2. 受けていない 3. わからない

※要介護認定とは「介護が必要な状態であるか、どのくらい必要なか」を判定し、「介護が必要な状態です」と認定されると介護サービスを利用できるようになります。

かくしゆしょうがいしゃてちよう しょじ かつ なんびよう がいと う ばあい しゆるい
各種障害者手帳を所持している方や難病に該当する場合であっても、サービスの種類によって、要介護認定を受けている方は介護保険制度が優先となります。

しょうがいしゃそうごうしえんほう
障害者総合支援法では、次の4種類の福祉サービスがあります。

1. ほうもんけい ざいたく ほうもん う
訪問系サービス（在宅で訪問を受けるサービス）
2. にっぢゆうかつどうけい にっぢゆう しせつ りよう
日中活動系サービス（日中に施設を利用するサービス）
3. きよじゆうけい やかん す ぼ りよう
居住系サービス（夜間における住まいの場を利用するサービス）
4. ちいきせいかつしえんじぎょう けん しちようそん ちいき じつじよう おう おこな
地域生活支援事業（県や市町村が地域の実情に応じて行うサービス）

これらのサービスについて、ぜんいんにおたずねします。

と
問9 あなたは、つぎ げんざいりよう
あなたは、次のサービスを現在利用していますか。
また、げんざいりよう こんごりよう
また、現在利用しているか、していないか、今後利用したいかをおたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

1. ほうもんけい ざいたく ほうもん う
訪問系サービス（在宅で訪問を受けるサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		げんざいりよう 現在利用 している	げんざいりよう 現在利用 していない	こんごりよう 今後利用 したい
(1) きたくかいご 居宅介護 (ホームヘルプサービス)	じたく にゅうよく しょくじ 自宅で、入浴、トイレ、食事など の支援を受けられる。	1	2	3
(2) じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	じゅうど したいぬじゅうしゃ にゅうよく 重度の肢体不自由者が、入浴、ト イレ、食事などの支援を受けられ る。	1	2	3
(3) どうこうえんご 同行援護	しかくしょう こんなん ゆう ひと いどう いちじる 視覚障がいにより、移動に著 しい困難を有する人が、移動に 必要な情報の提供(代筆・代読 を含む)、移動の援護等の外出 支援を受けられる。	1	2	3
(4) こうどうえんご 行動援護	こうどうしょう ちてきしょう 行動障がいのある知的障がい 者や精神障がい者が、外出する ときの危険回避や移動介護など の支援を受けられる。	1	2	3
(5) じゅうどしょうがいしゃとう 重度障害者等 ほうかつしえん 包括支援	つね かいご ひつよう しょう 常に介護を必要とする障がいの ある人が、きたくかいご サービスをいくつか組み合わせたもの を利用できる。	1	2	3

つぎ すす
(次のページへお進みください)

とい ほうもんけい かいぜん
問9-1(1) 訪問系サービスについて、あなたが改善してほしい(こうなってほしい)
とおも なん
と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業者の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. その他 ()
11. 訪問系サービスの提供状況に満足している

とい ほうもんけい かんが
問9-1(2) 訪問系サービスについて、あなたがお考えになっていることがありましたら、
じゆう か
ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

2. 日中活動系サービス（日中に施設を利用するサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用 している	現在利用 していない	今後利用 したい
(1) 短期入所 (ショートステイ)	介助者の病気などのときに、施設へ短期間入所して、入浴、トイレ、食事などの支援を受けられる。	1	2	3
(2) 生活介護	常に介護を必要とする障がいのある人が、日中に施設などで介護を受けたり創作的活動などを行ったりすることができる。	1	2	3
(3) 療養介護	医療を必要とする障がいのある人が、病院などで機能訓練や介護などを受けられる。	1	2	3
(4) 自立訓練 (機能訓練)	自立した生活ができるように、身体機能を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(5) 自立訓練 (生活訓練)	自立した生活ができるように、生活能力を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(6) 就労移行支援	就労を希望する障がいのある人が、就労に必要な知識や能力を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(7) 就労継続支援	一般就労が難しい障がいのある人が、就労の機会を活用し、生産活動を通じて知識や能力を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(8) 就労定着 支援	一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行います。	1	2	3
(9) 児童発達支援	障がいのある児童が、通所により、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練を受けられる。	1	2	3
(10) 医療型児童 発達支援	上肢、下肢又は体幹の機能の障がいのある児童が、通所により、治療及び日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練を受けられる。	1	2	3

つぎ すす
(次のページへお進みください)

(11) ほうかごとう 放課後等 デイサービス	しょうがいのあるじどうがじゅぎょうしゅうりょうご 障がいの児童が授業終了後な どに、つうしょせいかつのりよくこうじょう 通所で生活能力向上のための ひつようくねんしゃかいこうりゆうそくしん 必要な訓練、社会との交流促進など のしえんう 支援を受けられる。	1	2	3
(12) ほいくしょうとうほうもん 保育園等訪問 しえん 支援	ほいくしょう げんざいりようちゆう しょうがい じ 保育園等を現在利用中の障がい児、 またこんごりよう よてい しょう 又は今後利用する予定の障がい児 が、ほいくしょうにおけるしゅうだんせいかつ 保育園等における集団生活の てきおう せんもんてき しえん ひつよう 適応のための専門的な支援を必要と するばあい ほうもんしえん う 場合に訪問支援を受けられる。	1	2	3

とい にちちゆうかつどうけい かいぜん
問9-2 (1) 日中活動系サービスについて、あなたが改善してほしい（こうなっ
てほしい）と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. りよう かいすう にっすう ふ
利用できる回数や日数を増やす
2. りよう とう
利用したいサービスを受けやすくする
3. げんざい りよう とう
現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. りよう てつづ かんたん
サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. りよう じぎょうしゃ かず ふ
利用できる事業者の数を増やす
6. つうがく つうしょ つういん そうげい こうつうしゆだん ととの
通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. りようりよう やす
サービス利用料を安くする
8. しつ
サービスの質をよくする
9. じょうほうていきょう ふ
サービスについての情報提供を増やす
10. りようしゃどうし りよう かんきょう
利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる
11. た
その他（ ）
12. にちちゆうかつどうけい ていきょうじょうきょう まんぞく
日中活動系サービスの提供状況に満足している

とい にちちゆうかつどうけい かんが
問9-2 (2) 日中活動系サービスについて、あなたがお考えになっていることが
ありましたら、ご自由にお書きください。

3. 居住系サービス（夜間における住まいの場を利用するサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用している	現在利用していない	今後利用したい
(1) 共同生活援助 (グループホーム)	地域での生活に支障のない障がいの ある人が、共同生活するための住居 で日常生活の支援を受けて生活する。	1	2	3
(2) 施設入所支援	主に夜間に、施設で入浴、トイレ、食事 などの介護を受けて生活する。	1	2	3
(3) 自立生活援助	一人暮らしに必要な理解力・生活力等 を補うため、定期的な居宅訪問や随時 の対応により日常生活における課題 を把握し、必要な支援を受けられる。	1	2	3

問9-3 (1) 居住系サービスについて、あなたが改善してほしい（こうなってほしい）
と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業者の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. 利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる
11. その他（ ）
12. 居住系サービスの提供状況に満足している

問9-3 (2) 居住系サービスについて、あなたがお考えになっていることが
ありましたら、ご自由にお書きください。

つぎ すす
(次のページへお進みください)

4. 地域生活支援事業（県や市町村が地域の実情に応じて行うサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用 している	現在利用 していない	今後利用 したい
(1) 相談支援事業	障がいのある人が相談をすることができ、必要な情報や権利擁護などの援助を受けられる。	1	2	3
(2) コミュニケーション支援事業	意思疎通を図ることに支障のある障がいのある人が、手話通訳者などを派遣してもらうことができる。	1	2	3
(3) 日常生活用具給付等事業	重度障がいのある人が、日常生活に必要な用具の給付や貸し出しを受けられる。	1	2	3
(4) 移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある人が、外出するときの移動支援を受けられる。	1	2	3
(5) 地域活動支援センター	障がいのある人が創作的活動や生産活動を行い、社会との交流を進めることができる。	1	2	3
(6) 在宅重度障がい者等訪問入浴サービス事業	自力での入浴が困難な障がいのある人が、移動入浴車を利用して入浴することができる。	1	2	3
(7) 就職支度金支給事業	福祉施設の利用者が、就職などの自立をするときに就職支度金の給付を受けられる。	1	2	3
(8) 知的障がい者職親委託事業	知的障がいのある人が、指導訓練を行う人（職親）から生活指導や就労訓練を受けられる。	1	2	3
(9) 日中一時支援事業	障がいのある人が日中活動の場で過ごすことにより、障がい者の家族が一時的な休息をとることができる。	1	2	3
(10) 紙おむつ支給事業	在宅で排せつ介助の必要な障がいのある人が、紙おむつの購入費用の助成を受けられる。	1	2	3

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用 している	現在利用 していない	今後利用 したい
(11) 福祉タクシー利用 料金・自動車燃料費 助成事業	障がいのある人が、タクシー 利用料金やガソリン経費の助成 を受けられる。	1	2	3
(12) 社会参加促進事業	スポーツ・レクリエーション 活動、芸術・文化講座、点字や 朗読テープによる広報等の 提供、手話・要約筆記・点訳・朗読 奉仕員の養成、自動車運転免許 取得費用・自動車改造費用の助成 を受けられる。	1	2	3
(13) 地域移行支援	施設や病院から地域生活へ 移行するために必要な住居や 日中活動の確保、各種手続きや 生活に関する必要な支援を受け られる。	1	2	3
(14) 地域定着支援	一人暮らしや障がい者のみの 世帯の人を対象に、常に連絡が 取れる体制を確保し、緊急時に は必要な支援を受けられる。	1	2	3

問9-4(1) 地域生活支援事業について、あなたが改善してほしい(こうなってほし
い)と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 利用できる回数や日数を増やす | 2. 利用したいサービスを受けやすくする |
| 3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする | |
| 4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする | |
| 5. 利用できる事業者の数を増やす | |
| 6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える | |
| 7. サービス利用料を安くする | 8. サービスの質をよくする |
| 9. サービスについての情報提供を増やす | |
| 10. 利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる | |
| 11. その他() | |
| 12. 地域生活支援事業の提供状況に満足している | |

つぎ
(次のページへお進みください)

問9-4 (2) 地域生活支援事業について、あなたがお考えになっていることが
ありましたら、ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問10 福祉サービスや制度についての情報を、あなたは主にどこから入手することが
多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 家族・親せき | 2. 行政窓口(町役場・保健センターなど) |
| 3. 社会福祉協議会 | 4. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 5. 相談支援事業所・地域生活支援センター | 6. 通所・通学先 |
| 7. ホームヘルパー | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. 医師・看護師・医療関係者 | 10. 障がい者団体 |
| 11. ボランティア | 12. 友人・知人 |
| 13. 広報誌・ポスター | 14. テレビ・ラジオ |
| 15. 新聞 | 16. インターネット |
| 17. その他() | 18. 情報を得る手段がない |

問11 福祉サービスや制度についての情報のうち、あなたが特に必要だと思うものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 障がいのある人が利用できるサービスや制度とその内容 |
| 2. 施設の空き状況や待機者に関する情報 |
| 3. サービス事業者の所在地や事業内容 |
| 4. サービス事業者の特徴やサービスの質の評価 |
| 5. 利用料に関する情報 |
| 6. 手続きに関する情報 |
| 7. その他() |
| 8. 特にない |

ほ い く きょういく
④ 保育・教育について

ぜんいん
全員におたずねします。

とい げんざい つうえん つうがく
問12 あなたは現在、通園・通学をしていますか。（1つに○）

1. 幼稚園 → 問12-1～2へ
2. 保育園 → 問12-1～2へ
3. 特別支援学校（盲学校・ろう学校含む） → 問12-1～2へ
4. 小・中学校（特別支援学級） → 問12-1～2へ
5. 小・中学校（普通学級） → 問12-1～2へ
6. 高校・大学・短大・専門学校 → 問12-1～2へ
7. その他（ ） → 問12-1～2へ
8. 通園・通学していない → 問13へ

とい
問12で「1. 幼稚園」「2. 保育園」「3. 特別支援学校（盲学校・ろう学校含む）」
「4. 小・中学校（特別支援学級）」「5. 小・中学校（普通学級）」
「6. 高校・大学・短大・専門学校」「7. その他」と答えた人におたずねします。

とい つうえん つうがくさき のぞ なん
問12-1 あなたが通園・通学先に望むことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 就学・進路相談体制の充実
2. 能力や障がいの状態に応じた指導
3. 教材の充実
4. トイレなどの施設の整備
5. 普通学級への受け入れの促進
6. 周りの子どもとの交流機会の増加
7. 医療的なケアを受けられる体制
8. その他（ ）
9. 特にない

つぎ すす
（次のページへお進みください）

とい こんご しんろ きぼう
問12-2 あなたは今後、どのような進路を希望していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. きぎょう いっぱんしゅうろう
企業などでの一般就労
2. しょう ひと こよう おお じぎょうしょ しゅうろう
障がいのある人の雇用が多い事業所での就労
3. しょくいん しどういん しどう う しゅうろう
職員など指導員の指導を受けながらの就労
4. いっぱんしゅうろう む くんれん しせつ つうしょ
一般就労に向けた訓練ができる施設への通所
5. いっぱんしゅうろう もくてき しせつ つうしょ
一般就労を目的としない施設への通所
6. しんたいきのう くんれん しせつ つうしょ
身体機能の訓練ができる施設への通所
7. じりつ む くんれん しせつ つうしょ
自立に向けた訓練ができる施設への通所
8. しょくぎょうくんれんこう つうがく
職業訓練校への通学
9. だいがく せんもんがっこう しんがく
大学や専門学校への進学
10. じたく しごと
自宅での仕事
11. いりょうてき う しせつ りよう
医療的なケアを受けられる施設の利用
12. にゅうしょしせつ りよう
入所施設の利用
13. その他 ()
14. まだわからない

⑤ ^{しごと} 仕事について

^{ぜんいん} 全員におたずねします。

問13 ^{あなたは}、^{いまはたら} 今働いていますか。(1つに○)

1. ^{はたら} 働いている → ^と 問13-1 ~ 2へ 2. ^{はたら} 働いていない → ^と 問13-3へ

問13で「1. ^{はたら} 働いている」と答えた人におたずねします。

問13-1 ^{あなたは} どのように働いていますか。(1つに○)

1. ^{しせつ} 施設 (^{じゅさんしせつ} 授産施設・^{さぎょうしょ} 作業所など) ^{はたら} で働いている
2. ^{きぎょう} 企業などで ^{せいしゃいん} 正社員・^{せいしょくいん} 正職員として ^{はたら} 働いている
3. ^{きぎょう} 企業などでアルバイト、パートとして ^{はたら} 働いている
4. ^{じえいぎょう} 自営業
5. ^{ないしょく} 内職・^{じえいぎょう} 自営業の ^{てつだ} 手伝い
6. ^た その他 ()

問13-2 ^{あなたは} ^{しょう} 障がいがあることで、^{しごと} 仕事をする上で ^{うえ} 不安や ^{ふあん} 不満を ^{ふまん} 感じることはあり ^{かん} ますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. ^{しんたいてき} 身体的・ ^{せいしんてき} 精神的に ^{しごと} 仕事が ^{きつい} きつい | 2. ^{しゅうにゆう} 収入が ^{すく} 少ない |
| 3. ^{つうきん} 通勤が ^{たいへん} 大変 | 4. ^{しごと} 仕事が ^{むずか} 難しい |
| 5. ^{じぶん} 自分に ^あ 合った ^{しごと} 仕事がない | 6. ^{しょくば} 職場での ^{みぶん} 身分が ^{ふあんてい} 不安定 |
| 7. ^{しょうきゅう} 昇給や ^{しょうしん} 昇進が ^{びょうどう} 平等ではない | 8. ^{しょう} 障がい者用の ^{しゃよう} 設備が ^{せつび} 十分で ^{じゅうぶん} はない |
| 9. ^{さべつ} 差別・ ^{へんけん} 偏見・ ^{そが} 疎外感を ^い 感じる | 10. ^{しょくば} 職場の ^{にんげんかんけい} 人間関係が ^{むずか} 難しい |
| 11. ^{じぶん} 自分の ^{ペース} ペースで ^{しごと} 仕事ができない | 12. ^た その他 () |
| 13. ^{とく} 特にな | |

^{つぎ} (次のページへ ^{すす} お進みください)

問13で「2. 働いていない」と答えた人におたずねします。

問13-3 あなたは現在、働いていないのはどのような理由ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 幼少、または在学中である | 2. 高齢である |
| 3. 障がいなどで仕事ができない | 4. リハビリ、または職業訓練中である |
| 5. 通勤手段がない | 6. 就職先がない |
| 7. 障がいのある人の求人がない | 8. 仕事をする必要がない |
| 9. 働きたくない | 10. 就業先から辞めさせられた |
| 11. その他 () | |

現在、働いている人も働いていない人もお答えください。

問14 あなたは今後(将来)、働きたいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 働きたい → 問14-1~3へ | 2. 働きたくない → 問15へ |
| 3. わからない → 問15へ | |

問14で「1. 働きたい」と答えた人におたずねします。

問14-1 あなたはどのようなところで働きたいですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 一般企業で働きたい | 2. 就労継続支援A型事業所で働きたい |
| 3. 就労継続支援B型事業所で働きたい | 4. 内職・自営業の手伝いをしたい |
| 5. その他 () | |

※就労継続支援A型事業所…65歳未満の障がいのある人に、社員として雇用契約をし、就労の機会を提供する事業所。以前の福祉工場から変更したところが多い。

※就労継続支援B型事業所…年齢や体力の面で就労が難しい障がいのある人に、就労の機会を提供する事業所。以前の通所授産施設や小規模作業所から変更したところが多い。

問14-2 あなたはどのような種類の仕事をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 事務の仕事 | 2. 販売・接客の仕事 |
| 3. 製造の仕事 | 4. 農林水産関係の仕事 |
| 5. コンピューター関係の仕事 | 6. 医療・福祉・教育関係の仕事 |
| 7. その他 () | 8. わからない |

問14-3 あなたはどのように働きたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 正社員 | 2. アルバイト、パート |
| 3. 自営業、または自営業の手伝い | 4. 内職など自宅でできる仕事 |
| 5. その他 () | 6. わからない |

現在働いている人も働いていない人も、お答えください。

問15 あなたが働く上で、どのような条件が必要だと思いませんか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 職場が自宅から近い |
| 2. 通勤手段がある |
| 3. 障がいのある人を積極的に雇用している |
| 4. 障がいに合った仕事である |
| 5. 障がいに合わせて勤務時間・日数が調整できる |
| 6. 障がいに配慮した設備が整っている |
| 7. 賃金が妥当である |
| 8. 障がいに対する職場の理解がある |
| 9. 仕事に慣れるまで適切な指導が受けられる |
| 10. 就労相談や就労訓練が充実している |
| 11. 一般企業で働く訓練の機会が充実している |
| 12. その他 () |
| 13. 特にない |

(次のページへお進みください)

けいざいじょうきょう
⑥ 経済状況について

ぜんいん
全員におたずねします。

と
問16 あなたが生活していくうえでの主な収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1. 本人の給料・賃金・工賃 | 2. 本人の自営・家事手伝いによる収入 |
| 3. 本人の年金・手当・恩給 | 4. 本人の財産からの収入 (家賃・利子・不動産など) |
| 5. 親の収入 | 6. 配偶者の収入 |
| 7. 子どもの収入 | 8. 生活保護 |
| 9. その他 () | |

と
問17 あなたは公的年金や手当(生活保護費を除く)を受けていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 年金を受けている → <u>問17-1へ</u> | 2. 手当を受けている → <u>問17-2へ</u> |
| 3. どちらも受けていない | |

と
問17で「1. 年金を受けている」と答えた人におたずねします。

と
問17-1 あなたが受けているものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 障害基礎年金 | 2. 障害厚生年金 |
| 3. 障害共済年金 | 4. 心身障害者扶養共済年金 |
| 5. 老齢基礎年金・老齢厚生年金・老齢共済年金 | |
| 6. その他の国民年金・厚生年金・老齢年金 | |

と
問17で「2. 手当を受けている」と答えた人におたずねします。

と
問17-2 あなたが受けているものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1. 特別障害者手当 | 2. 障害児福祉手当 | 3. 特別児童扶養手当 |
| 4. 在宅重度心身障害者手当 | 5. その他の手当 | |

⑦ ^{がいしゅつ} 外出について

^{ぜんいん} 全員におたずねします。

問18 ^{がいしゅつ} あなたが外出をする（^{しごと} 仕事を含む）^{にっすう} 日数はどのくらいですか。（1つに○）

- | | |
|---|--|
| 1. ^{まいにち} ほとんど毎日 → <u>問18-1~3へ</u> | 2. ^{しゅう} 週に3~4回 → <u>問18-1~3へ</u> |
| 3. ^{しゅう} 週に1~2回 → <u>問18-1~3へ</u> | 4. ^{つき} 月に1~2回くらい → <u>問18-1~3へ</u> |
| 5. ^{ねん} 年に数回くらい → <u>問18-1~3へ</u> | 6. ^{がいしゅつ} 外出しない・ ^{がいしゅつ} 外出できない → <u>問19へ</u> |

問18で「1. ^{まいにち} ほとんど毎日」「2. ^{しゅう} 週に3~4回」「3. ^{しゅう} 週に1~2回」「4. ^{つき} 月に1~2回くらい」「5. ^{ねん} 年に数回くらい」と答えた人におたずねします。

問18-1 ^{おも} あなたは主にどのようなことで^{がいしゅつ} 外出をしますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|--|
| 1. ^{しせつ} 施設や ^{がっこう} 学校などへの ^{つうしょ} 通所・ ^{つうがく} 通学 | 2. ^{しごと} 仕事 |
| 3. ^{じゆしん} 受診・ ^{りはびり} リハビリ | 4. ^か 買い物 |
| 5. ^{しゆみ} 趣味・ ^{あそ} 遊び | 6. ^{こうきょうきかん} 公共機関や ^{ぎんこう} 銀行での ^{てつづ} 手続き |
| 7. ^た その他（ <input type="text"/> ） | |

問18-2 ^{がいしゅつ} あなたは外出するときは、主にどのような手段を使いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---|---|---|
| 1. ^{とほ} 徒歩 | 2. ^{くるま} 車いす | 3. ^{でんどうくるま} 電動車いす |
| 4. ^{じてんしゃ} 自転車・ ^{オートバイ} オートバイ | 5. ^{かぞく} 家族が ^{うんてん} 運転する ^{くるま} 車 | 6. ^{じぶん} 自分で ^{うんてん} 運転する ^{くるま} 車 |
| 7. ^た その他（ <input type="text"/> ） | | |

問18-3 ^{がいしゅつ} あなたはひとりで外出しますか。それとも、^{がいしゅつ} 外出するときは誰かの^{だれ} 介助を^{かいじょ} 必要と^{ひつよう} しますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. ^{がいしゅつ} ひとりで外出できる | 2. ^{かぞく} 家族が ^{かいじょ} 介助する |
| 3. ^{ゆうじん} 友人・ ^{ちじん} 知人が ^{かいじょ} 介助す | 4. ^{きんじょ} 近所の人が ^{かいじょ} 介助する |
| 5. ^{ホームヘルパー} ホームヘルパーが ^{かいじょ} 介助する | 6. ^{むしょう} 無償ボランティアが ^{かいじょ} 介助する |
| 7. ^{ゆうしょう} 有償ボランティアが ^{かいじょ} 介助する | 8. ^た その他（ <input type="text"/> ） |

^{つぎ} (次のページへお進みください)

がいしゅつ ひと ひと こと
外出をする人もしない人も、お答えください。

と い がいしゅつ りゆう がいしゅつ こま なん
問19 あなたが外出できない理由、または外出するときには困ることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 健康上や体力的に自信がない | 2. 介助・支援を頼める人がいない |
| 3. 周囲の目が気になる | 4. お金の計算や支払いができない |
| 5. 道路や歩道が通りにくい | 6. 建物や施設が、段差があるなど利用しにくい |
| 7. バスなどの交通機関が少ない | 8. 障がい者用の駐車場が少ない |
| 9. 障がい者用のトイレが少ない | 10. 外出する気力がない |
| 11. 出かけるところがない | 12. その他 () |
| 13. 特にない | |

なや そうだん
⑧ 悩みごとや相談について

ぜんいん
全員におたずねします。

と い しょう き しんだん う しょう う い かてい くる
問20 あなたは障がいに気づいてから診断を受けて、障がいを受け入れるまでの過程で苦し
かった(つらかった)のはどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や周囲の理解が得られないこと
2. 症状に対してどのように対応していいかわからなかったこと
3. 孤立感
4. 障がいについての知識がなかったこと
5. 他人と比較してしまうこと
6. 相談先がわからなかったこと
7. 診断後のフォローアップがなかったこと
8. 世間体
9. 障がいがあることを受け入れること自体ができなかったこと(できないこと)
10. 生活費などお金について困ったこと
11. その他 ()
12. 特に苦しい(つらい)と思ったことはない

問21 あなたは現在、誰かに相談したい悩みごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 健康のこと | 2. 障がいのこと |
| 3. 福祉サービスのこと | 4. 生活費のこと |
| 5. 金銭管理のこと | 6. 仕事のこと |
| 7. 住まいのこと | 8. 人づきあいのこと |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

問22 あなたは悩みや困ったことを誰に(どこに)相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 同居の家族・親せき | 2. 同居以外の家族・親せき |
| 3. 町役場 | 4. 保健センター |
| 5. 社会福祉協議会 | 6. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 7. 相談支援事業所・地域生活支援センター | |
| 8. 福祉施設の職員 | 9. ホームヘルパー |
| 10. 民生委員・児童委員 | 11. 通園・通学先の先生 |
| 12. 医師・看護師・医療関係者 | 13. 障がい者団体の人 |
| 14. ボランティア | 15. 友人・知人 |
| 16. 地域包括支援センター | |
| 17. その他 () | |
| 18. 相談できる人(場所)がない | 19. 相談することは特にない |

問23 相談をしやすいするには、あなたにとって、どのようなことが必要だと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. いつでも相談に応じてくれる | 2. 信頼できる人に相談できる |
| 3. 障がいに応じた専門的な相談ができる | 4. 身近な場所で相談できる窓口がある |
| 5. 電話・ファックスで相談ができる | |
| 6. インターネットや電子メールで相談ができる | |
| 7. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる | |
| 8. その他 () | |

(次のページへお進みください)

と
問24 成年後見制度せいねんこうけんせいどを利用りようしていますか。または今後利用こんごりようしたいと思おもいますか。(1つに○)

1. すでに利用りようしている
2. 今いまは必要ひつようないが、将来必要しょうらいひつようとなったら利用りようしたい
3. 利用りようしたいと思おもわない
4. わからない

※成年後見制度…判断能力が不自由な人の介護、福祉サービスを利用するための手続きや預貯金の財産管理を代わりに行ったり、悪質商法の契約から守ったりしてくれる「成年後見人」を家庭裁判所が選任し、本人を支援する制度です。

ち い き せい かつ ⑨ 地域生活について

ぜんいん
全員におたずねします。

と
問25 あなたは、宮代町の住みやすさを、全体ぜんたいとしてどう感じかんていますか。(1つに○)

1. 大変住みやすいたいへん す
2. どちらかといえば住みやすいす
3. あまり住みよくないす
4. 住みにくいす
5. わからない

と
問26 あなたは、隣近所となりきんじょとどの程度ていどのつきあいをしていますか。(1つに○)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1. 普段から親しいつきあいをしている <small>ふだん した</small> | 2. 行事のあるときはつきあう <small>ぎょうじ</small> |
| 3. 会えばあいさつをする程度 <small>あ ていど</small> | 4. ほとんどつきあいはない |

と
問27 あなたは今、地域いま ちいきの人に支えられていると思おもいますか。(1つに○)

1. 支えられていると思おもうささ
2. どちらかというささと支えられていると思おもう
3. どちらともいえない
4. どちらかというささと支えられていると思おもわない
5. 支えられていると思おもわないささ

問28 町民が障がいのある人への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 学校での福祉教育を充実させる
2. 障がいのある人もない人も、ともに参加するイベントを開催する
3. 障がいや障がい者問題に関する講演会や学習会などを開催する
4. 企業が積極的に福祉活動に関わる
5. マスコミを通じて、障がいのある人の生活をもっとよく知ってもらう
6. 町から、障がいや障がいのある人に対する理解を呼びかける
7. 障がいのある人が自立する努力をして、積極的に社会参加する
8. その他 ()
9. わからない
10. 理解を深めてもらう必要はない

問29 あなたは最近1年間に、地域の活動に参加したことがありますか。

また、今後参加してみたい地域の活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

	あてはまるものすべてに○		
	最近1年間に 参加した	最近1年間は 参加していない	今後参加 してみたい
1. 趣味などのサークル活動	1	2	3
2. スポーツやレクリエーション	1	2	3
3. 地域の行事やイベントなどの交流 事業	1	2	3
4. 講座や講演会	1	2	3
5. 障がい者団体の活動	1	2	3
6. ボランティア活動	1	2	3
7. その他	ある場合は、ここにお書きください。		

(次のページへお進みください)

とひ しょう ひと ちいき かつどう せつきよくてき さんか なに ひつよう
問30 障がいのある人が地域の活動に積極的に参加するためには、あなたにとって、何が必要
だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 魅力的な行事やイベントの充実 | 2. 利用しやすい施設への改善 |
| 3. 移動のための手段（車両や介助者）の確保 | |
| 4. 参加を補助するボランティアなどの育成 | 5. 家族の積極性 |
| 6. 障がいのある人自身の積極性 | 7. 広報や福祉教育の充実 |
| 8. その他（ | ） |
| 9. 特にな | |

とひ こんご たの しえん なん
問31 あなたが今後、ボランティアに頼みたい支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 話し相手 | 2. 外出時の付き添い |
| 3. 外出時の送り迎え | 4. 家事の手伝い |
| 5. 家族が外出したときの介助 | 6. 家や庭の手入れ |
| 7. 買い物や手続きの代行 | 8. 本や情報誌などの点訳や朗読 |
| 9. 学習・趣味活動などの相手や介助 | |
| 10. スポーツ・レクリエーション活動の相手や介助 | |
| 11. 行事やイベント参加への手助け | |
| 12. その他（ | ） |
| 13. 特にな | |

とひ ねん れいわ ねん がつ にち れいわ ねん がつ にち あいだ しょう
問32 おおむねこの1年（令和3年11月1日～令和4年10月31日）の間に障がいがあるため
に差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。（1つに○）

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. 時々ある | 3. ほとんどない | 4. まったくない |
|---------|---------|-----------|-----------|

とひ しょうがいしゃさべつかいしょうほう し
問33 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。（1つに○）

- | |
|---------------------------|
| 1. 知っていて、内容も知っている |
| 2. 知ってはいたが、内容については理解していない |
| 3. 知らなかった |

10 ぼうはん ぼうさい じ そな
防犯・防災時の備えについて

ぜんいん
全員におたずねします。

問34 さいがい じしん かじ お はんぱい なん
災害（地震や火事など）が起きたときに、あなたにとって心配なことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. たす もと むづか
助けを求めるのが難しい | 2. じぶん しょう りかい
自分の障がいを理解してもらえない |
| 3. ひなんじよせいかつ むづか
避難所生活が難しい | 4. くすり てはい むづか
薬の手配が難しい |
| 5. じょうほう にゆうしゆ
情報を入力しにくい | 6. びょういん い
病院に行けない |
| 7. ひなん
ひとりで避難することができない | 8. ひなんばしょ
避難場所がわからない |
| 9. その他（ ） | 10. とく
特にない |

問35 ひなんじよ せいかつ ひつよう お ばんぱい なん
避難所で生活する必要が起きた場合に、あなたにとって心配なことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. ひなんじよ かいごしゃ
避難所に介護者などがいるか |
| 2. ふくよう くすり てはい
いつも服用している薬が手配できるか |
| 3. いりょうてき う
医療的なケアが受けられるか |
| 4. しょう ひと つか
障がいのある人が使えるトイレがあるか |
| 5. ひと み せいかつ
人に見られないように生活できるか |
| 6. しょう たい りかい ひと
障がいに対して理解してくれる人がいるか |
| 7. た
その他（ ） |
| 8. とく
特にない |

問36 きんきゆう ばんぱい しょうぼうしょ けいさつ つうほう
あなたは緊急の場合に、すぐに消防署や警察へ通報することができますか。
（1つに○）

- | | | |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. じぶん つうほう
自分で通報できる | 2. かいじょしゃ つうほう
介助者に通報してもらう | 3. つうほう
通報できない |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------|

つぎ すす
（次のページへお進みください）

とひ さいがい じょうほう きんきゆう れんらく つうしんほうほう ひつよう
問37 災害の情報や緊急の連絡のため、あなたはどんな通信方法が必要ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 固定電話	2. 携帯電話
3. ファックス	4. パソコン (インターネットや電子メール)
5. 災害援護者による連絡	6. 防災無線
7. その他 ()	

とひ ちいき じしゅそしき じゅうしょ しめい しんたい じょうきよう こじんじょうほう とうろく さいがい じ
問38 地域の自主組織などに、住所や氏名、身体状況などの個人情報を登録し、災害時に
避難誘導や情報伝達の支援を受ける制度を町は実施していますが、あなたは利用して
いますか。

(1つに○)

1. 利用している → <u>問39</u> へ	2. 利用していない → <u>問38-1</u> へ
--------------------------	-----------------------------

とひ 問38で「2. 利用していない」と答えた人におたずねします。

とひ げんざい じょうほう りゆう りゆう なん
問38-1 あなたが現在、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 個人情報なので、教えたくない。
2. 家族と同居しているので、利用する必要がない。
3. 利用することで、周りの人に迷惑をかけたくない。
4. 制度を知らなかった。
5. 対象ではなかった。
6. その他 ()

11

希望・要望について

全員におたずねします。

問39 あなたは障がいのある人に対する支援として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 障がいや病気の早期発見や初期段階での支援の充実
2. 的確な診断ができる専門医の確保
3. 診断後のわかりやすく具体的な指導やフォローアップの充実
4. 家族や周囲への障がいに関する教育の充実
5. 障がいに関する適切な情報の提供
6. 相談窓口の充実、専門性の向上
7. 当事者や家族への心理カウンセリングの充実
8. ピアカウンセリング※の充実
9. 医療・保健・福祉・教育・就労などの関係機関の連携の強化
10. ホームヘルプサービスや一時預かり支援（ショートステイ・日中一時支援事業・生活サポートなど）の充実
11. 就学・学校教育に関する支援の充実
12. 放課後・余暇活動の場の整備
13. 障がい者スポーツの充実
14. 就労支援（ジョブコーチを含む）、職業訓練の充実
15. 福祉や教育の現場などに対する障がいに関する情報提供や研修の充実
16. 広く町民への障がいに関する理解の促進
17. その他（ ）
18. 特にない

※ピアカウンセリング…同じような環境や悩みをもつ人同士が、対等な立場で同じ仲間として話を聞き合うこと。

（次のページへお進みください）

